

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212W203	医療・看護倫理学 (Community Health Nursing Practice V)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	火・3	小野光美・脇幸子・幸松美智子・猪俣理恵・岩本祐一 内線：5071 E-mail：mitsumi@

【授業の概要・到達目標】

医療倫理・看護倫理の成り立ちや基本的な概念・理論を学ぶ。その上で、日常の医療現場で起こりうる様々な倫理的問題について理解し、問題解決のために必要な基本的理論とその方法を学び、看護専門職者に必要な倫理的な取り組みができるための基盤を育成する。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 医療倫理・看護倫理が成立した社会的背景を説明する。	○			○			
2. 倫理原則や主要概念・理論を説明する。	○						
3. 医療現場で起こる倫理的ジレンマについて説明する。				○			
4. 看護場面における倫理的ジレンマについて、具体的な問題点を明らかにし倫理的判断や意思決定までの過程を説明する。			○	○			○

【授業の内容】

1	医療倫理・看護倫理の変遷、倫理原則および看護実践上重要な倫理的概念
2, 3	倫理的問題を検討するための知識、方法論 1) 看護者の倫理的行動規範 (倫理綱領) 2) 倫理的な推論に基づく分析、態度表明、倫理的行為の実現
4~9	現代医療における倫理的問題 1) 出生前診断、遺伝子治療、妊娠中絶、代理出産に関する倫理的問題 2) 子どもの権利、小児医療・看護に関する倫理的問題 3) 精神障害をもつ人々の権利、精神医療・看護に関する倫理的問題 4) 慢性疾患を抱える人々の医療・看護に関する倫理的問題 5) 医療や看護を受ける高齢者の医療・看護に関する倫理的問題 6) 終末期の医療・看護に関する倫理的問題
10, 11	看護場面における倫理的な葛藤や問題に関する事例検討

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	学修記録による振り返り	・講義、事例検討を組み合わせた授業を行う。
B：意見の表現・交換	○	発問、グループ討議	
C：応用志向	○	事例検討・発表	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書や参考書等を用い、次回の学修内容について予習する。(11h)。
事後学修	授業資料、教科書等を用い、授業で学修した内容を復習する。(11.5h)

【教科書】 宮坂道夫 (2016)：医療倫理学の方法—原則・ナラティブ・手順 [第3版], 医学書院.

【参考書】 小西恵美子編集 (2021)：看護学テキスト NiCE 看護倫理 [改定第3版] よい看護・よい看護師への道しるべ, 南江堂.

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
期末試験	70%	○	○	○	○
学修記録の内容	10%	○	○	○	○
事例検討 (チーム活動の過程と成果)	20%	○	○	○	○

【注意事項】 毎回、学修記録の提出 (Moodle アンケート) をもって出席状況を確認する。

【備考】 大学の感染対策方針に基づき、オンライン授業に変更する可能性がある。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	小野・岩本（保健師、看護師）、脇・幸松（看護師）、猪俣（助産師、看護師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	看護実践の場で経験した倫理的な葛藤や問題を教材に、講義や事例検討を行う。	
授業形態	面接授業	